

てい子さんのこと



田原 真里子

「これね、上等のすゞくおたかい羊羹な

よ」箱入りの小さな包み。わたしは「ほんと

にいいんですか?」とあっさりいただき、ま

ずは一口。あまりの美味しさにこれは誰にも

食べさせてなるものか!と隠す所を捜します。

「主人がね、裏のけやきの枝を落とすと言う
のよ。枝いる」これも早速軽トラックでもら
いに行きました。その枝の山はまだ私の家の
庭先に積んであるというのに。てい子さんは
霧の向こうに消えてしまわれました。

鹿児島市内への行き帰り、車の中で、政治
の話、歴史の話など会話がはずみ、あつとい

う間に入来と言ふ事もしばしばでした。思
い出は尽きません。本当にてい子さんには樂し
い時間を沢山いただきました。

来年の春、入来院の下の川のほとりにはえ
ている竹の子が、私の家の下を流れている入
来川にぶかぶかと流れつきそうな気がしてい
ます。てい子さんありがとうございます。

